

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		交通政策企画調整事務		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44311	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	県北都市間路線バス維持対策協議会規約等					
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		公共交通の維持・確保・改善を図るため、以下の取組等を行っている。								
目的 ※何のために		地域公共交通の確保・維持・改善及びこれらの促進。								
対象 ※誰・何を対象に		上記目的を達成するために組織された各協議会や運行事業者など。								
手段 ※どのように		負担金の支出、基金の積み立ておよび要望活動。								
成果 ※何を求めるか		地域住民の移動手段の維持・充実に図れる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他(民間事業者など)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	鉄道・路線バス利便性向上事業	24,190,000
本事業の 主な業務		・総合的な公共交通政策					・県北都市間路線バス維持対策協議会			
		・鉄道事業者に対する要望					・深谷市鉄道駅バリアフリー化設備整備事業			
		・高崎線輸送力増強推進協議会					・			
		・秩父鉄道整備促進協議会					・			
		・秩父鉄道再生支援協議会					・			
		・東上線複線化促進期成同盟会					・			

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		鉄道事業者に対する負担金 金県北都市間バス対策協議会負担金	鉄道事業者に対する負担金 金県北都市間バス対策協議会負担金 金明戸駅トイレ整備	鉄道事業者に対する負担金 金県北都市間バス対策協議会負担金	鉄道事業者に対する負担金 金県北都市間バス対策協議会負担金	鉄道事業者に対する負担金 金県北都市間バス対策協議会負担金	
事業費	予算(現額)	8,974,000	25,374,000	9,683,000	24,459,000	20,447,000	
	決算額	8,853,000	24,180,828	9,557,860	24,190,000	0	
	財源内訳	国支出金	3,850,000	0	2,170,000	0	
		県支出金	5,900,000	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	8,853,000	14,430,828	9,557,860	22,020,000	20,447,000
人件費	従事職員数(人)	0.42	0.42	0.34	0.47	0.39	
	人件費相当試算※	3,305,214	3,364,270	2,795,562	3,984,235	3,435,311	
	総事業費試算	12,158,214	27,545,098	12,353,422	28,174,235	23,882,311	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	県北都市間路線バス維持対策協議会に係る補助額	目標値	千円							
		実績値		3,600.00	3,300.00	3,300.00	3,300.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		協議会で補助額を決定するため目標値の設定になじまない / 深谷市の補助額							
	実績値の算出式									
活動指標 2	秩父鉄道整備促進協議会に係る特別負担金	目標値	千円							
		実績値		5,196.00	5,072.00	5,419.00	11,973.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		協議会で負担額を決定するため目標値の設定になじまない / 深谷市の負担額							
	実績値の算出式									
成果指標 1	深谷・寄居線の年間運行本数	目標値	便	3,650.00	3,660.00	3,650.00	3,650.00			
		実績値		3,650.00	3,660.00	3,650.00	3,650.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状の運行本数維持を目標とする。 / 1日運行本数×年間運行日数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	秩父鉄道運行本数	目標値	本							
		実績値		30,304.00	30,392.00	26,302.00	26,296.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値は、計画ダイヤの運行本数とした。 / 武川駅							
	実績値の算出式									
成果指標 3	民間路線バスの年間利用者数	目標値	千人							
		実績値		73.54	86.59	105.40	125.79			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市内で運行する民間路線バス（４路線）の利用者数を集計（各事業者確認値）							
	実績値の算出式									
成果指標 4	秩父鉄道の年間利用者数	目標値	千人							
		実績値		13,705.64	14,350.47	14,537.68	14,583.60			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		秩父鉄道確認値							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	県北都市間路線バス維持対策協議会に係る補助金や、秩父鉄道整備促進協議会に係る負担金については、協議会からの請求に基づき負担を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	民間路線バスについては、指標となる県北都市間路線バス（深谷・寄居線）の運行本数については維持され、民間路線バスの年間利用者数については、深谷北・籠原駅北線の新規運行などの理由により、前年度から約2万人の増加となった。 秩父鉄道については、運行本数は前年に比べ若干減少したものの、利用者数については昨年度に続き上昇している。
			評価者 市街地整備係 松本 拓陽

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	秩父鉄道については、運行本数に減少が見られる中、利用者人数は増加していることから、効率化が図られていると判断される。 民間路線バスについては、以前より県北都市間バスにおいて協議会へ負担金を支払うことにより、コミュニティバスより効率的な運行を確保していた。令和6年12月に運行を開始した深谷北・籠原駅北線についても、引き続き深谷大里看護学校と共同で運行経費を負担することで、効率的な運行に繋げている。
			評価者 市街地整備係 松本 拓陽